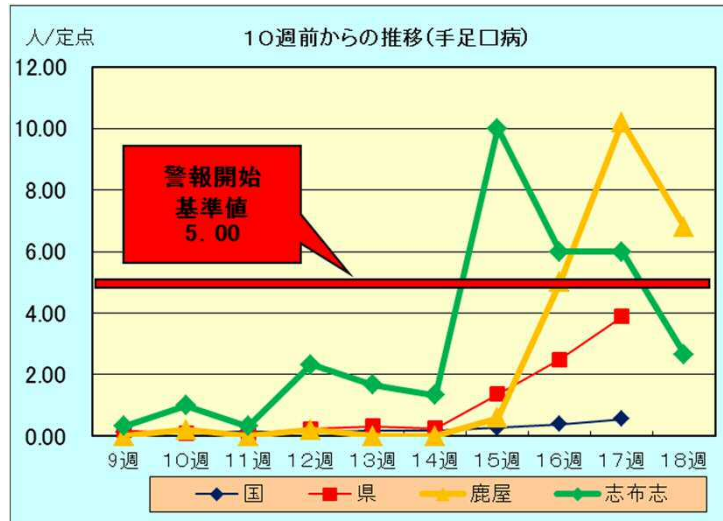


手足口病流行発生警報について

大隅地域振興局保健福祉環境部

1 現状

・鹿屋保健所管内及び志布志保健所管内の定点医療機関からの報告によると、15週から手足口病の報告数が増加し継続した流行が見られるため、流行発生警報を発令します。



2 原因と症状

- ・手足口病はコクサッキー、エンテロウイルス等を原因とする幼児を中心とした感染症です。
- ・感染すると3～5日の潜伏期をおいて、口腔内、手のひら、足底等に2～3mmの水疱が出現します。
- ・発熱は1/3程度に見られますが、ほとんどは38℃以下と軽度です。

3 注意すること

- ・保育園や幼稚園、学校等では手洗い等を励行し、集団発生に注意してください。
- ・口腔内の水疱を刺激しない食べ物を与え、何よりも脱水状態にならないよう、こまめに水分補給をすることが大切です。
- ・手足口病は回復した後も長期にわたってウイルスが排泄されますが、登校登園については、感染拡大防止の観点からではなく、患者本人の体調等によって判断することとされています。
- ・ごくまれに髄膜炎、脳炎等の合併症が起こることがあるので、発熱が続いたり、頭痛や嘔吐等がある場合は早めに医療機関を受診してください。
- ・その他、予防や治療等の詳細については、主治医等に相談してください。